

# 第 139 回 関西 IVR 撮影技術研究会

記

日 時：2025 年 10 月 5 日（日） 13：00～

場 所：大阪公立大学医学部附属病院 5 階講堂

（病院地下 1 階出入口よりお入りください）

参加費：会費 1000 円

## プ ロ グ ラ ム

一部 13:05～14:05

### 日常臨床で活躍するために

テーマ： 日々の実務で役立つコツや知恵についての深掘り

大阪公立大学医学部附属病院 帛田 雄介

- ・ 中堅者から「コツ・苦労・達成感」発表いただく
- ・ 血管造影室で何をしている？との初歩的な日常業務にも触れていただく
- ・ 発表後、グループディスカッションを実施し、参加者同士で意見交換

二部の一 14:05～14:30

### 研究発表の初学者から中堅者に向けての道

テーマ： ハイボリュームセンターでなくてもできる臨床研究 — 困っていることを解決する —

近畿大学奈良病院 川村 克年

- ・ 次の部の研究演題に繋がるような話題提供をいただく

二部の二 14:30～15:20

### BEST choice 研究演題セッション

発表演題：「EVAR における QVA を用いた血管径計測の可能性」

大阪けいさつ病院 西尾 達也

発表演題数：1 演題を幹事間で今年度上半期の関西圏発表者のベストを選出

発表時間：14 分、発表時（7 分）の 2 倍の発表時間

- ・ 演者による深掘り、最新の研究や取り組みについての口演発表
- ・ 参加者との質疑応答を通じて意見交換を促進
- ・ 様々な視座での深掘りを座長が臨み、会場を巻き込んでの討論

—（休憩 10 分）—

三部 15:30～16:30

### トレンドセッション

テーマ： 今さら聞けない DRL — DRLs2025 を上手く理解するために —

大阪公立大学医学部附属病院 市田 隆雄

- ・ 診療放射線技師にとって必須のトピックである「DRL2025（診断参考レベル）」の改訂内容やその意義について講演をいただく
- ・ 今後シリーズ化して、参加者における DRL の理解度を深める
- ・ 質疑応答を含めた総合討論

（敬称略）

★関西 IVR 撮影技術研究会は日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定機構（出席：1 単位）、日本救急撮影技師認定機構（出席：2 ポイント）の認定団体です。